

日時：令和6年2月20日（火）

午後6時半～午後7時半

会場：南三陸町立入谷小学校

《欠席：齋藤 左恵子 様、渡邊 陽介 様》

1 開会（全体進行：教頭 千葉 正康）

2 開会の挨拶

(1) 南三陸町教育委員会 教育長 齊藤明 様

- ・ 今年度、1回目と2回目の学校運営協議会は志津川中学校での開催であったが、今回から入谷小学校での開催となる。
- ・ 「良い地域には良い学校があり、良い学校は良い地域にある」と言われるように、学校目標やビジョンを地域や関係機関と共有・連携してそれぞれの役割を果たしながら、より良い学校・地域を目指してほしい。
- ・ 入谷小学校では、地域と一体となった教育活動が盛んに行われている。今後も継続できるように、委員の皆様には協力をお願いしたい。

(2) 入谷小学校学校運営協議会 会長 阿部國博 様

- ・ 地域と学校が一体となって取り組むコミュニティ・スクールの活動が5年経過する中で、少ない人数の子供たちをどのように育むかは、家庭だけではなく地域全体で取り組むことが重要と思える。また、地域全体で取り組むことは、子供たちが地域を知る良い機会と考える。
- ・ 各学年の取組を地域で共有し、一緒に取り組むことが今後も重要になると考える。
- ・ 委員の皆様には、今後も協力をお願いしたい。

3 学校長挨拶（校長 石田 隆幸）

- ・ 今年度は年3回の学校運営協議会を始め、年度当初に予定していた教育活動をほぼ終えることができたこと、関係する皆様に感謝申し上げます。
- ・ 次年度以降も、本校の強みである「学校・家庭・地域」が一丸となって子供たちの健やかな成長を支えることができるように、忌憚のない意見を頂戴したい。

4 協議・報告（議長：阿部 國博 様）

(1) 令和5年度の学校経営推進プランと令和6年度学校経営方針の説明・承認について（校長）

- ・ 配布資料のp.1～4（p.1,2はカラーで印刷された資料と差し替え）参照。

(2) 令和5年度の取組と児童・保護者アンケートの結果について（入谷小 松岡）

- ・ 同封の「令和5年度 南三陸町立入谷小学校～私たちのコミュニティ・スクール～」と、配布資料のp.6～10参照。

(3) 協議事項の報告

【学習支援部（報告：入谷小 佐々木）】

- 「育てた物を食する」という活動の流れが各学年で見られたこと
 - ・ 1年：リンゴ→ジャムづくり（PTA 親子行事）
 - ・ 3年：みそ→みそを使った調理（PTA 親子行事）、みその作り方に関心を持つ保護者、みそが健康に良いということを再認識
 - ・ 5年：稲作→はせがけや餅つきなどが今年度は追加、子供たち自身の活動を大切にしたい
 - ・ 6年：阿部博之様の果樹園でいただいた果物等を使って産業フェアで出店

- 公民館との連携について
 - ・ 今年度のように童子山に登山する場合は、地域の方に公民館を通して案内をすることもできるのではないか
 - ・ 地域にある人や自然などの財産を活用して、入谷ならではの活動を行う

【学校行事部（報告：入谷小 武山）】

- 8月の早朝奉仕作業について
 - ・ 町の予算により、草刈りは事前に行ってもらうことが期待できるので、次年度も草集めが中心となると思われる。軽トラックを集めることや、誘導員を配置することが必要。また動きの確認を事前に行うことや、重機を確保することが必要か（重機については、今年度同様に御協力をお願いしたい）
- プール清掃について
 - ・ 児童の人数減少により、汚れが落とすことが大変になってきた。多くのPTAの方々にも協力いただくためにも、次年度以降PTAの日曜日の奉仕作業に位置付け、高学年児童も交えながら保護者と行っていくことが必要か

【安心・安全部（報告：松岡）】

- 不審者対応の避難訓練について
 - ・ 今年度の取組を振り返ると、避難先に課題が残ったが、そもそも不審者の動きを想定することが難しいので、児童が主体的に判断して行動する力を育てることが必要か
 - ・ 警察の方に協力いただく訓練の他に、休み時間など使って、もう一度児童が判断して行動する訓練が必要なのではないか
- 交通安全教室（自転車の乗り方）について
 - ・ 自転車に乗ることができない児童が増えていることから、今年度は自転車に乗ることが難しい児童には、国道にある信号機まで歩く学習を行った。ただ、それで良かったのかという反省が出されたため、改めて検討した
 - ・ そもそも自転車に乗ることに必要性を感じていない児童が増えていると思われるが、自転車の乗り方やルールを知ることは継続していく必要があるのではないか

【交流活動部（報告：入谷小 菊田）】

- 打囃子学習会について
 - ・ 次年度は榊様の御協力をいただき、3年生が八幡神社で打囃子についての学習を行うことを計画する
- ひころの里秋まつりについて
 - ・ 今年度は参加者を集めることが課題であった。コロナ禍を経て4年振りに秋まつり行ったということもあり、「全員で参加する」という意識が途切れたのかもしれない。次年度は、秋まつりと郷土芸能発表会はみんなで参加するものとして、事前に保護者やスポ少担当に伝えてはどうか
 - ・ それぞれの行事で太鼓を運ぶためのトラックの手配や、太鼓を置く台の工夫が必要か
 - ・ 花笠を作り替えるために、講師の先生方に教わる必要がある
- 小中連携について
 - ・ 今年度、入谷小を卒業した児童が志津川中学校で「打囃子を披露する機会を設けたい」という話しをしたとのこと。小学校で行っている秋まつりや郷土芸能発表会で、中学生と一緒に活動することができないか

5 閉会の挨拶：副会長 山内 年男 様

- ・ 協議において活発な意見が出された。今後も子供たちや地域のために御協力をお願いしたい。

6 閉会